

図書館と生涯学習市民センターの複合施設における 指定管理者制度の運営状況について（報告）

1. 定量的(数值的)評価

(1) 図書館の開館時間・開館曜日の拡大、休館日の縮減

- 第4月曜日(従来からのセンター休所日)以外全て開館するとともに、開館時刻を9時に繰り上げ、月曜日～土曜日の閉館時刻を 21 時に繰り下げ。(年間総開館時間を約 1.5 倍に拡大)
- 4月～8月実績対前年同期比 (図書館システム更新のため、9月～10月の約2週間を休館)

貸出・新規登録者	蹺跼	牧野
子ども(12歳以下)の貸出人数	18.9%増	9.7%増
17時以降の貸出人数	57.8%増	61.1%増
20歳～69歳の新規登録者	24.5%増	10.5%増

※図書館全館の貸出人数が2%減に対し、蹺跼で10%増、牧野で8%増。

(2) 図書館における「読書シート」の配布

- 借りた本を 20 冊まで記録出来る「読書シート」を両図書館の館内と地元小学校を經由して配布し、読書と図書館利用を促進している。

読書シート	蹺跼	牧野
配布枚数	1,634 枚	866 枚
20冊到達者	474 人	124 人

※10月末現在

(3) 生涯学習市民センター利用状況

利用率は、蹺跼では約 62%、牧野では約 58%で両施設ともに昨年度に比べ横這いの状況。利用者数については、蹺跼では空調工事に伴う部分休館により減少したが、牧野は、増加している。

利用者数	蹺跼	牧野
平成 27 年4月～10 月	62,064 人	53,609 人
平成 28 年4月～10 月	59,867 人	56,036 人

(4) 生涯学習市民センター事業や図書館との連携事業の実施

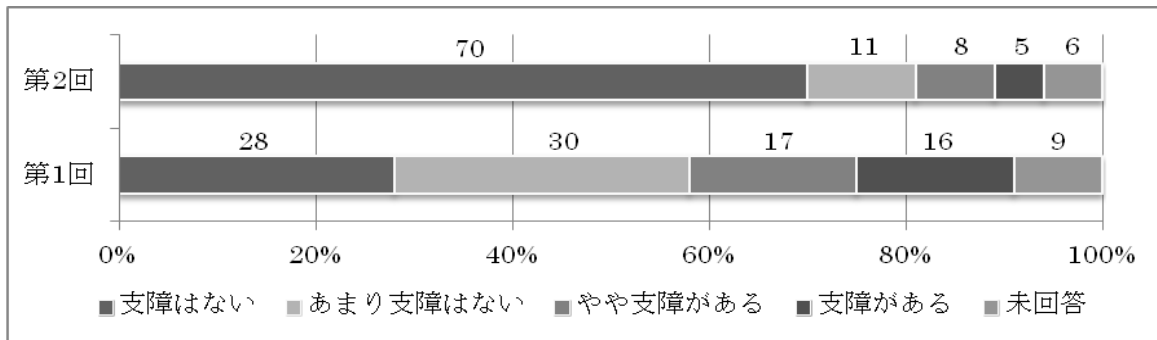
これまで実施してきた活動委員会事業については、活動委員会に対し、新たな事業実施提案に取り組んでいる。新規事業となる指定管理者自主事業については、センターロビーを活用したコンサートやイベント、2館の連携事業としてイングリッシュカフェをはじめ各種講座、子ども向けイベントを実施するなど積極的に取り組んでおり、施設の活性化に寄与している。

		蹺跼	牧野
平成 28 年4月～10 月	指定管理者自主事業	5回	5回

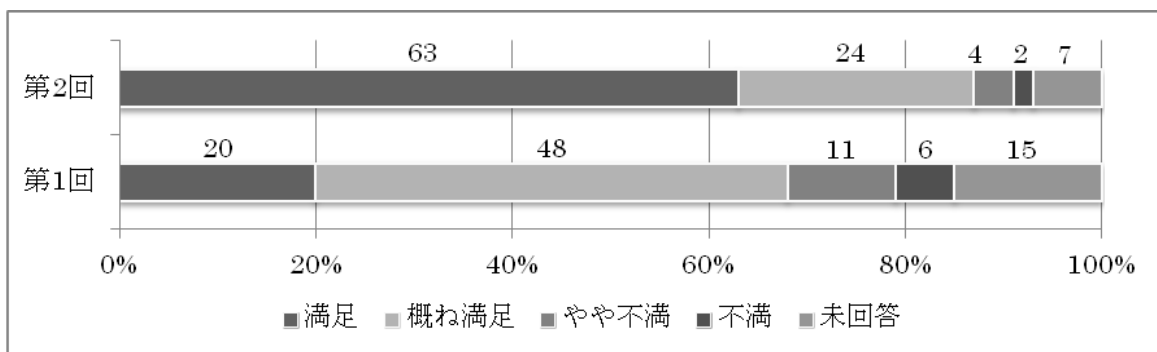
2. 定性的評価(アンケート等)

(1) 総合窓口体制

- 図書館貸出業務並びにセンターの利用許可等を一体的に行う総合窓口体制について、受付と対応に関する利用者評価を把握するため、アンケート調査を5月と10月の2回実施した。
- 第2回のアンケートで「支障はない」「あまり支障はない」と回答した利用者は合計で81%、「やや支障がある」「支障がある」と回答した利用者は合計で13%となっている。



- 総合窓口の対応については、「満足」「概ね満足」と回答した利用者は合計で87%、「不満」「やや不満」と回答した利用者は合計で6%となっている。



(2) 広報

- 「蹉跎だより」「まきのだより」を図書館とセンターの合同で発行し、イベント関連図書の紹介等多彩な記事とカラーA3印刷、駅構内の掲示等によって、発信力が強化された。

(3) その他指定管理者による取り組み

- 1階図書館内に書籍消毒機の設置。
- 生涯学習市民センターロビーでのインターネット無線接続サービス(無線LAN)の提供。
- 生涯学習市民センター2階事務所で施設利用にかかる宅配便の事前受取および発送代行サービスを提供。

3. まとめ

全体としては概ね適正な運営が行われている。今後も引き続き両施設の特性等を踏まえて利用者サービス向上の観点から検証を行っていく。